

あま み きのょう くん ことわざ 奄美の教訓（諺）

奄美に昔から伝わる島口の教訓を紹介します。皆さんはいくつ知っていますか。

や な そと な 家慣れど 外慣れ

【解 釈】

家庭における子どもの躰，生活習慣は良かれ悪しかれ外に出てもそのまま表れるものだ。挨拶や言葉遣い，整理整頓など子どもの躰は親の責任で，正しくきちんとしつけなくてはならない。

(家庭のしつけ)



む ん し は ね 物事ぬ知り果てや無ん

【解 釈】

生きている限り物事を知り尽くしたということはない。今や情報化社会，よりよく生き抜くためには常に新しい知識を求めて学び続けなければならないのである。

(生涯学習)



くういこうとば じんかね い 挨拶なん 銭金や要らん

【解 釈】

人間関係で大切なことは，金や物ではなく心のこもった温かい言葉のやりとりである。お互いに心のこもった挨拶や言葉を交わし，明るく楽しい日々を過ごしたいものだ。

(あいさつ)



む ぬ さり ふい うぶん 思いどう運命 請どう幸運

【解 釈】

思い願うことがその人の運命となり，請い願うことがその人の幸運につながる。

(日ごろの心がけ，思いの大切さ)

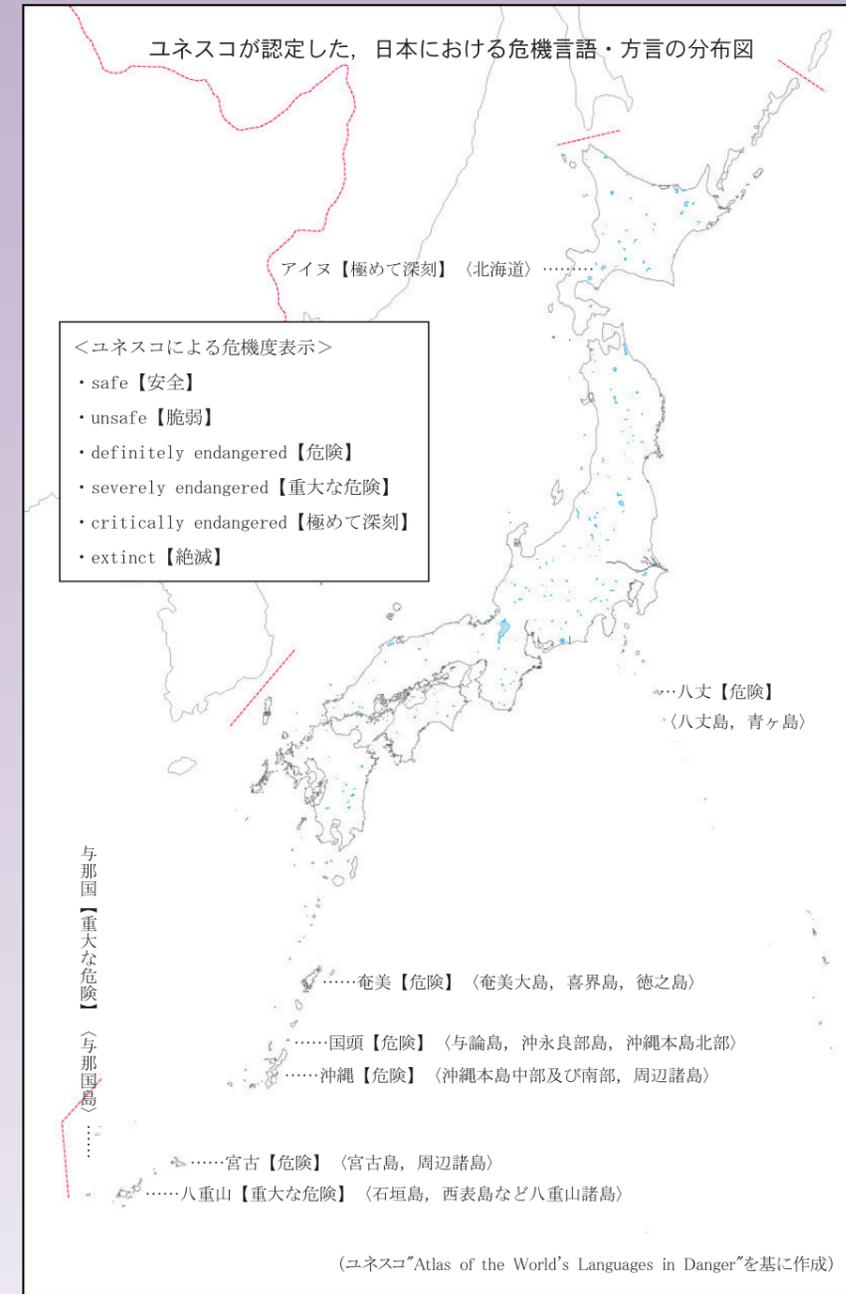


島口の教訓は，集落によって違います。あくまでもひとつの例として載せています

奄美に伝わる教訓(諺)



ユネスコ（国連教育科学文化機関）は平成21年2月に、日本国内の8つの言語・方言を消滅の危機にあるものと認定していますが、その中に奄美の方言も含まれています。



大島地区文化協会連絡協議会

（事務局：鹿児島県大島支庁総務企画課 〒894-8501 奄美市名瀬永田町17番3号 TEL 0997-57-7218）

<http://www.pref.kagoshima.jp/chiiiki/oshima/kyoiku/oosimatikuhougennohi.html>

大島地区文化協会連絡協議会では、近年、衰退しつつある奄美の方言を保存・伝承していくことを目的に、平成19年度から2月18日を大島地区の「方言の日」と定めています。大島地区の各市町村では方言に関するイベントや島口カレンダーの作成、学校ではカルタ大会や劇を島口（方言）で行うなどの活動を行っています。奄美の島口を将来に残していくため、学校や家でも島口を使ってみましょう。